

ようじえんだより 2019年度9月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

9月主題『気づく』

主題聖句：沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい。

ルカによる福音書 5章4節

- ☆ 0～2歳児：行動範囲が広まり探索する。子守歌を歌ってもらい、気持ちよく眠りにつく。まわりの人のために祈ろうとする。友だちにも思いがあることに気づく。移りゆく季節を楽しむ。
- ☆ 3～5歳児：神さまの望まれる平和を共に考え、祈る。体を動かしたり、物事にじっくり取り組む中で、試行錯誤する。空・星・虫など自然の変化に興味をもち、友だちや保育者と思いを通わせながら関心を深める。友だちや保育者と一緒にことば・リズム・ルールを楽しむ遊びをする。

自分の弱さに気づく

この夏、我が家は高校野球で盛り上がりました。優勝した履正社高校のエース投手は妻と同じ中学出身ということがわかり、妻は(私も娘も)勝手に盛り上がって応援していました。故郷を思い、同郷や縁で応援するのも高校野球の良いところだと勝手に思っています。

この夏、嫌なニュースとして取り上げられていたのが、高速道路上であおり運転をして、尚且つ相手方を殴って怪我をさせたというニュースです。あの人物のことが報道されるにつれて、彼の経歴がわかってきました。私と同じ43歳ですが、どうやら私たち夫婦と同じ大学に通っていたらしい…。あんな怖い人を大学時代目撃したことは私も妻もありませんでしたが、「あの人物と同じ時期に同じ大学で過ごしました！」とはあまり言いたくありません。

面識もなく、親子ほど年齢の違う人でも、活躍したら「同じ中学出身よ！」と言いたくなり、困った人とは同じ年でも「同じ大学出身よ！」

とは言いたくない自分自身に矢印を向けると、人のふんどしで相撲を取るような感覚があることに恥じ入るばかりです。

過度な期待は抱かず、応援モードで

我が子に対していらだちをおぼえない親はおそらくいないと思いますが、そのいらだちがどこから出てくるのかを考える必要はあると思います。以前も触れましたが、我が子へのいらだちの多くは、「期待値が高すぎる、もしくは子どもの思いとずれている」のだと思います。他の子だと腹が立たないのに、自分の子に腹を立てるのは、自分とつなげて考えているからです。しかし親子でも別人格です。兄弟姉妹で同じ環境で育ち同じものを食べていてもみんな違います。人格形成は、環境の影響を受けますが、もって生まれたものもあるのです。みんな神様から与えられている賜物は違います。その違う賜物に目をとめ、「自分とは違うなあ。でもすごいなあ」と思えたら自然と応援モードで我が子に向き合えます。園長：久保田愛策

年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。

旧約聖書 詩編1編3節